



PRESS RELEASE

令和 7 年 8 月 19 日

メタバースで小児・AYA がん患者の交流を支援するプロジェクトをさらに拡大へ クラウドファンディングを開始

◆発表のポイント

- ・小児・AYA 世代のがん患者が抱える孤独感を解消するため、全国の病院をつなぐメタバース上のコミュニティを運営します。
- ・新たに 20 施設への機材導入費用としてクラウドファンディング（目標金額 456 万円）を 8 月 1 日から開始しました。

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座（整形外科）の長谷井嬢教授（特任）は、小児・AYA 世代（15～39 歳）のがん患者が抱える深い孤独感を解消するため、「メタバースを用いた小児・AYA がん患者交流支援プロジェクト」を推進しています。

骨肉腫をはじめとする希少がんはこの世代に好発しますが、患者数が少ないため、入院中に同じ境遇の仲間と出会う機会が極めて乏しいのが現状です。本プロジェクトでは、メタバース（仮想空間）を活用し、全国の病院に入院する患者がアバターを通じて気軽に交流できるオンラインコミュニティを構築・運営。身体的な制約や治療による外見の変化などを気にせず、悩みや経験を共有できる場を提供しています。

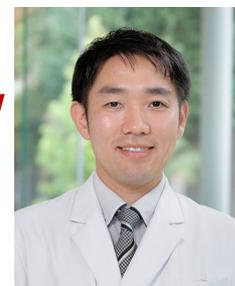
現在、岡山大学病院をはじめ全国 20 の主要ながん治療病院で運用していますが、この“つながり”をさらに多くの患者へ届けるため、2025 年 8 月 1 日から、クラウドファンディングプラットフォーム「READYFOR」にて、新たな参加施設拡大のための資金募集を開始します。本クラウドファンディングでは、VR ゴーグル等の機材購入費として 456 万円を目標としています。

◆研究者からのひとこと

小児・AYA 世代のがん患者さんたちは、長い治療期間を深い孤独の中で過ごしていることが少なくありません。同じ病気や境遇にある同世代の仲間と出会う機会がほとんどないためです。この状況を何とかしたいという一心で、私たちはメタバース空間に、全国の仲間とつながれるコミュニティを立ち上げました。

この仮想空間では、アバターになることで、見た目や場所を気にすることなく、誰でも気軽に参加できます。患者さん同士で語り合ったり、少し先を歩むがんサバイバーの先輩と交流したりすることで、「一人じゃない」と感じられる、そんな温かい居場所を目指しています。

現在、20 の病院でこの取り組みを進めていますが、まだまだ支援を待っている患者さんが全国に大勢います。この輪をさらに広げ、一人でも多くの患者さんに安心感を届けるため、皆さまの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。



長谷井教授（特任）



PRESS RELEASE

■発表内容

小児・思春期・若年成人（AYA:Adolescent and Young Adult）世代に好発する腫瘍は希少がんであることが多い傾向にあります。しかし、患者数が少ないため、入院中の病院内で同世代・同じ境遇の仲間と出会うことは稀です。その結果、多くの患者が長期にわたる治療生活において、病気の不安に加えて強い孤独感を抱えており、精神的なサポート体制の充実が課題となっています。

この課題を解決するため、メタバースを利用した患者交流支援プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトでは、全国の病院に入院している患者が、自身の分身である「アバター」を操作して参加します。参加者は、場所や身体的な制約、あるいは抗がん剤治療などによる外見の変化を気にすることなく、同じ境遇の仲間と自由に交流し、悩みや経験を共有することができます。

この空間は、患者同士のコミュニケーションの場としてだけでなく、がんサバイバーとの対話会や、医療者による情報提供の場としても活用されており、患者の精神的負担の軽減（メンタルケア）とウェルビーイング（良好な状態）の向上を目指しています。

【今後の展望】クラウドファンディングによる全国展開の加速

本プロジェクトは、岡山大学病院をはじめ、北海道から九州まで全国 20 の主要ながん治療施設の協力を得て、すでに運用が始まっています（右図）。この実績をもとに、さらに多くの患者へ支援を届けるため、参加施設を新たに 20 施設増やすことを計画しています。その実現に向け、クラウドファンディングプラットフォーム「READYFOR」にて、VR ゴーグルやタブレット端末の購入費用などを募ります。

期間は 2025 年 8 月 1 日から 10 月 30 日まで、目標金額は 456 万円です。

《クラウドファンディングサイト》

<https://readyfor.jp/projects/okayama-metaverse>

《X》

<https://x.com/OkayaJet/status/1951076640802611420>

地方	参加施設名
北海道	北海道大学病院
東北	東北大学病院 弘前大学医学部附属病院
関東	がん研有明病院 杏林大学医学部附属病院 国立がん研究センター中央病院 聖路加国際病院 神奈川こども医療センター 静岡がんセンター
中部	岐阜大学病院 金沢大学附属病院 名古屋大学医学部附属病院 名古屋医療センター
近畿	大阪国際がんセンター 大阪大学医学部附属病院 兵庫県立こども病院
中国	岡山大学病院 鳥取大学医学部附属病院
四国	四国がんセンター 愛媛大学医学部附属病院
九州	九州大学病院

現在の参加病院

■社会的な意義

本プロジェクトは、これまで物理的な制約により困難であった、希少疾患を持つ患者同士の広域的なコミュニティ形成を可能にします。メタバースという先進技術を活用することで、小児・AYA世代のがん患者の QOL（生活の質）を向上させ、闘病における精神的孤立という深刻な問題を解決する新たな支援モデルを社会に提示するものです。この取り組みが全国に広がることで、未来を担う若き患者たちが、希望を持って治療に臨める社会の実現に貢献します。



PRESS RELEASE

<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域
医療情報化診療支援技術開発講座
教授（特任） 長谷井 嬢
（電話番号） 086-235-7273



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。